

# 川崎市議会議員 いわくまちひろ

## 2016年度予算案

民主みらい  
川崎市議団

連載No.80



川崎市議会議員 いわくまちひろ

川崎市より2016年度当初予算案が示されました。なぜ、(案)なのかというと、行政が議会に提出してきた予算(案)は、これから始まる予算議会で様々な議論を経て最終的に議会が承認するしくみになっているからです。

市民生活と密接な関わりのある市税収入は、人口増の影響もあり順調に伸びているものの、歳出分を賄えず減債基金(市の借金を返済するために積み立てている貯金)から92億円借り入れることで収支を均衡させています。また、市債発行額も592億円(対前年度+76億円・+14.7%)となり厳しい財政運営を強いられています。

一方、安定的な財政運営(これは不断の「行財政改革」が求められます)がこの内容が明確ではありません。前市長下における行財政改

革では、明確な数値目標を掲げ職員数や予算の削減などが行われてきました。が、現市長下では、「量」から「質」への転換となり、職員の質の向上など定量化が困難かつ曖昧なものも多く散見されます。また市民へは、今後、公共施設における手数料や使用料の値上げも予定されており、行政内部には甘く市民へは厳しくは説明がつきません。

市民1人あたりの予算の使いみち(一般会計)

